

幕別町消費者被害防止 ネットワークニュース

第42号



モバイルバッテリーの事故に注意

モバイルバッテリーは、スマートフォンやタブレット端末などを充電できる予備電源として、低価格で大容量な為、便利で身近なものとなっていました。しかし、製品の普及に伴い、事故件数も増えていますので、注意してください。

(消費者庁ニュースリリース参考)

事故の事例

①特急電車に乗車中、バッグの中でもモバイルバッテリーが突然青っぽい火を噴き、バッグと電車の床を焦がした。電車は急停車し消防署員が駆けつけた。

②電車に乗車中、胸ポケットのモバイルバッテリーが急に熱くなつた。ホームに停車中だったのでホームにモバイルバッテリーを投げ出した直後に火柱が上がつた。駅員がバケツの水で消火した。

③新幹線に乗車中、カバンに入っていたモバイルバッテリーが破裂し、両足に全治2週間のやけどをした。新幹線は検査の為、15分遅延した。

④モバイルバッテリーを充電していたら煙が出て発火し、指をやけどした。

気をつけること

①リコール対象製品でないか、リコール情報を確認しましょう。

②新規に購入する際は、PSEマークを必ず確認しましょう。

③製品本体に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しないようにしましょう。

④充電中は周囲に可燃物を置かないようになります。

⑤膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、異常を感じたら使用を中止しましょう。

⑥充電コネクタの破損や水ぬれに注意しましょう。

⑦公共交通機関での事故を避けるため、持込規則を確認して、それに従いましょう。

日頃から知らない番号からの電話には出ないことを心がけ、かけ直す前にまずその番号をネットで検索するという習慣をつけましょう。

もし電話に出てしまつた時は「必要ない」ときっぱり断ることが大切です。

数日前、スマートフォンに着信があり、かけ直したら、「お金が必要な場合は…」と自動音声が流れた。すぐに電話を切つたが不安だ。
なぜこのような電話がきたのだろうか

相談事例紹介

ワン切りの不審な電話！？

着信履歴を残して折り返し電話をかけ直してきた方にガイダンスを流し、「融資します」と勧誘する貸金業者からの可能性があると伝えました。今回のように、電話をかけてしまふと、履歴をもとに再度電話がかかってくることも考えられるので、着信拒否登録をすることと、今後知らない番号からの電話には出ないよう助言しました。

最近では、公的機関のような名前を騙り実際には融資しないにもかかわらず、融資するという広告をダイレクトメール、電話、ネット広告、雑誌、FAXなどで行い、融資を申し込んできた者に対し保証金などを名目に現金を振り込ませて騙し取る融資保証金詐欺が流行しています。

このような電話は、コンピュータを使い無作為に自動発信された可能性があり、お金を借りることが困難になつた人を探し出してヤミ金融に誘導しようとします。しかし、個人を特定して電話をかけているわけではありませんので、無視してかまいません。

（あります）

集できないごみ」の扱いに

（町では「収集できません」の扱いになります）

問 幕別町消費生活センター（☎ 55-5800）

地区	相談受付		場所
幕別	火曜・木曜	午前9時～午後4時	幕別町役場 1階相談室
札内	月曜～金曜		札内コミュニティプラザ 消費生活センター
忠類	第2・4水曜	(札内:第1・3・5水曜は午後7時まで)	忠類コミュニティセンター

見守り 新鮮情報

災害に備えて 日ごろから 安全対策を

9月1日は防災の日です。いつ起こるか分からない災害に備え、日ごろから**安全対策**を行いましょう。**家具類の安全対策、防災用品の点検、避難場所や家族との連絡方法**など、身の回りの防災について再確認しましょう！



©Kurosaki Gen

ひとこと助言

日ごろから
安全対策を



- **家具の安全対策点検** 地震に備えて、転倒防止器具を使い、家具の転倒・落下・移動防止対策をしましょう。対策を行う家具の形状や重さに合った器具を選び、正しく設置することが重要です。既に設置をしている場合にも、器具が外れていないか確認しましょう。
- **防災用品の点検** 災害時に懐中電灯、ラジオ等が使用出来ないことがないよう電池等を確認しましょう。住宅用火災警報器も正常に作動するか定期的に点検を行いましょう。
- **避難経路の確保** 避難の妨げにならないよう、出入り口や避難経路に倒れやすい家具を置かないようにしましょう。
- **連絡方法の確認** 近隣の避難場所や家族の間で安否確認のための手段を確認しましょう。例えば各電話会社の提供する災害用伝言板サービス等の使い方を調べておくのも良いでしょう。